



2021年12月期 第1四半期決算 説明会資料

株式会社 堀場製作所

常務取締役 管理本部長 大川 昌男

2021年5月13日

説明内容

- 2021年12月期 1 - 3月期決算概要
- 2021年12月期 通期業績予想
- 営業利益分析
- 為替の影響額
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 株主還元政策
- その他トピックス

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2021年12月期 1-3月実績

(単位：億円)

半導体を中心に販売が増加したことなどにより増収増益

	2020年	2021年	対前年同期増減	
	1-3月実績	1-3月実績	金額	率
売上高	449	485	+35	+8%
営業利益	38	59	+20	+52%
営業利益率	8.7%	12.2%	+3.5p	-
経常利益	39	58	+19	+51%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	22	39	+16	+71%
USドル (円)	108.86	106.09	▲2.77	
ユーロ (円)	120.08	127.81	+7.73	

2021年12月期 1-3月実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	2020年	2021年	対前年同期増減		2020年	2021年	対前年同期増減	
	1-3月実績	1-3月実績	金額	率	1-3月実績	1-3月実績	金額	率
自動車	148	121	▲27	▲18%	3	▲4	▲7	-
環境	45	52	+6	+14%	2	6	+4	+179%
医用	57	63	+5	+10%	1	1	+0	+5%
半導体	138	184	+45	+33%	32	52	+20	+62%
科学	59	64	+5	+9%	▲0	2	+3	-
合計	449	485	+35	+8%	38	59	+20	+52%

<自動車>

<環境・プロセス>

<医用>

<半導体>

<科学>

排ガス・MCT※事業において前期末の受注残が減少していたため、日本や欧州で販売減少

アジアでの煙道排ガス分析装置の販売増加

米州など各地域で血球計数装置の販売増加

半導体メーカーの設備投資拡大を背景に、半導体製造装置メーカーへ販売増加

企業などの研究開発費の緩やかな回復に伴い販売増加

※Mechatronics (自動車計測機器)

2021年12月期 通期業績予想

(単位：億円)

半導体の受注動向を勘案し、売上高とすべての利益を上方修正

	2020年	2021年		増減	
	実績	期首予想 (2/15)	今回予想 (5/13)	対前年	対前回予想
売上高	1,870	2,000	2,100	+229	+100
営業利益	196	200	245	+48	+45
営業利益率	10.5%	10.0%	11.7%	+1.2p	+1.7p
経常利益	193	195	240	+46	+45
親会社株主に帰属 する当期純利益	131	135	160	+28	+25
USドル (円)	106.76	105.00	108.00	+1.24	+3.00
ユーロ (円)	121.88	125.00	128.00	+6.12	+3.00

2021年12月期 通期業績予想 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	2020年	2021年		増減		2020年	2021年		増減	
	実績	期首予想 (2/15)	今回予想 (5/13)	対前年	対前回予想	実績	期首予想 (2/15)	今回予想 (5/13)	対前年	対前回予想
自動車	639	640	640	+0	-	24	10	10	▲14	-
環境	183	210	★ 210	+26	-	16	15	15	▲1	-
医用	210	250	250	+39	-	▲4	5	5	+9	-
半導体	569	610	★ 710	+140	+100	140	155	★ 200	+59	+45
科学	268	290	★ 290	+21	-	19	15	15	▲4	-
合計	1,870	2,000	2,100	+229	+100	196	200	245	+48	+45

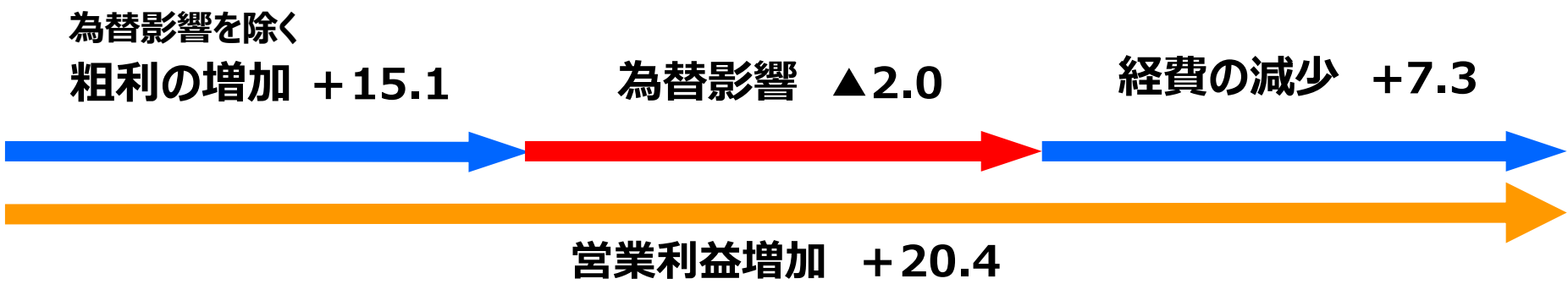
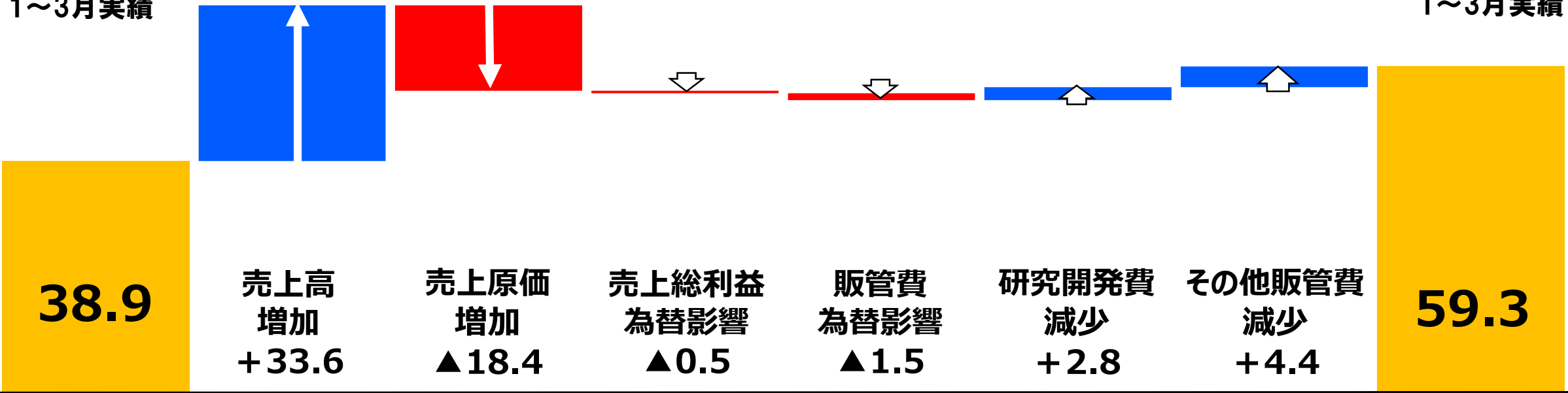
<半導体> 直近の受注動向などを勘案し、売上高で前年比+25%となる上方修正
 <全体> 世界的な電子部品の不足などによる調達リスクを認識

営業利益分析

(単位：億円)

2020年
1～3月実績

2021年
1～3月実績



為替の影響額

(単位：億円)

2021年1-3月期 為替影響額（前年同期比）

売上高の増加	+ 33.6
売上原価の増加（逆符号）	▲ 18.4
販売費及び一般管理費の減少（逆符号）	+ 4.4
営業利益への影響	▲ 2.0

（円）	2020年1-3月期	2021年1-3月期	レート差
USドル	108.86	106.09	▲ 2.77
ユーロ	120.08	127.81	+ 7.73

為替感応度（2021年通期予想） 1円円高による売上高/営業利益の影響額

	売上高	営業利益
USドル	▲ 5.3	▲ 2.6
ユーロ	▲ 3.2	▲ 0.0

（円）	2021年通期予想
USドル	108.00
ユーロ	128.00

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	2020年	2021年			2021年
	実績	期首予想 (2/15)	今回予想 (5/13)	対 期首予想	1-3月実績
設備投資額	151	165	165	-	34
減価償却費*	96	105	105	-	24
研究開発費	155	170	170	-	38
(対売上高比)	8.3%	8.5%	8.1%	▲0.4p	8.0%

* 無形固定資産の償却費含む

2021年 トピックス

- 有形固定資産：
継続：ホリバ・フューエルコン社生産設備増強、中国拠点強化
新規：各拠点生産設備強化など

株主還元政策

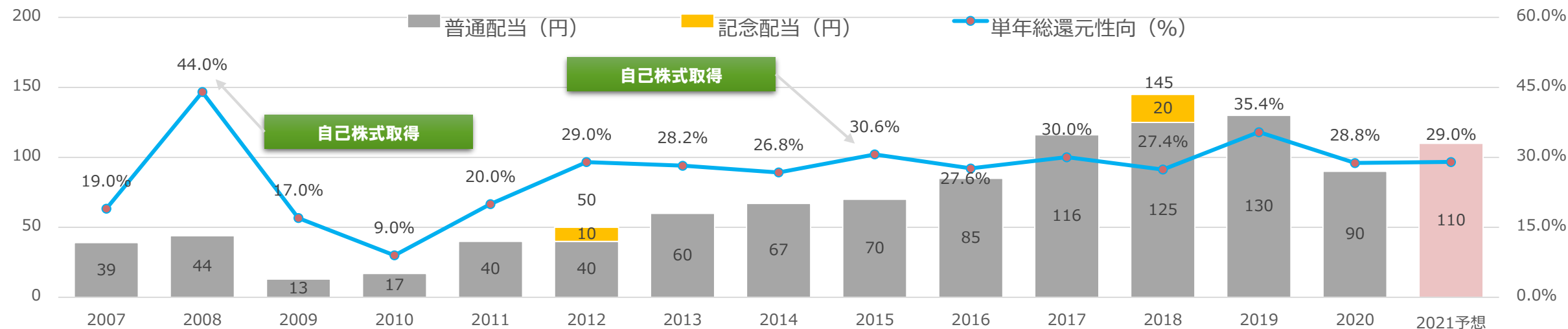
基本的な考え方

- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&Aなど）

配当金及び自己株式の取得

- 2019年実績 130円[中間 50円、期末 80円]
- 2020年実績 90円[中間 30円、期末 60円]
- 2021年予想 110円[中間 40円、期末 70円]

配当推移



自動車の電動化とHORIBA

ホリバMIRA社の最新プロジェクト

ホリバMIRA & REE Automotive

- REE社※（イスラエル）のエンジニアリング研究開発センターをMIRAテクノロジーパークに誘致
- EVプラットフォームの開発とグローバルでの供給をめざすREE社の開発を支援



- MIRAテクノロジーパーク
 - 自動車メーカー等へ研究開発棟をリース
 - 革新的な自動車製品を、グローバル市場に提供する企業が参画

✓ ホリバMIRA社テストコース



ホリバMIRA & TOGG

- TOGG社（トルコ）が進める革新的なEV SUV車の研究・開発プロジェクトに参画
- 耐久特性などの検証にMIRAテクノロジーパーク内の試験コースや試験設備を活用



✓ 38種類におよぶ試験設備で世界基準を満たす車両開発を支援

※REE社：REEオートモーティブ社。イスラエルのEV関連新興企業

なでしこ銘柄・健康経営優良法人ホワイト500に選定

より良い職場環境の実現をめざした活動が株式市場関係機関から評価



- ✓ 「HORIBAステンドグラスプロジェクト」を中心とした、ダイバーシティ推進活動が評価
- ✓ 2019年から3年連続で選定



- ✓ 経営トップによる「こころとからだの健康づくり宣言」に基づく活動が評価
- ✓ 2017年から5年連続で選定

HORIBA Report 2020-2021発行

HORIBAの“多様性”と“個性”をお伝えする1冊！

価値創造

HORIBAは分析・計測技術を活用して、様々な社会課題解決をサポートする製品を提供しています。
そのビジネスを支えるのは技術と人財。
お客様のパートナーとなり、HORIBAはより良い社会づくりに貢献し、
大きな価値を生みだしていきます。

社会的価値の創出
経済的価値の創出

ソリューション開発
販売
お客様
オープンイノベーション
社会ニーズ
R&D
コア技術
はかる技術
環境・プロセス
はかる事業
医療
人財 (ホリバーリアン)

Develop as a new business

Close Up

半導体の供給を支える
HORIBA

HORIBAは、半導体製造における製造プロセス(ドライプロセス、ウェットプロセス、リソグラフィ、検査、品質管理、
さらに工場で使用する純水や排水処理など)での主要装置などに向けた多様なアプリケーションを開発しています。
製造プロセスでは、半導体の微細化・多層化が進展し、これまで以上に複雑な設計・構築が求められています。
流体制御、液体計測、分注機能など様々なコア技術を活用し、
高度かつ複雑な装置の構築やメンテナンスソリューションを顧客に提供し、
最先端半導体製造の発展に貢献しています。

半導体事業を育てた
HORIBAのバランス経営

HORIBAは一つ一つのセグメントの経営資源が有限な中で、
成長機会を戦略的に見極め、各セグメントの成長を促進。
市場の成長を促すことで、高収益な事業が生まれ、半導体
事業のなかで、継続的に競争力を維持向上させてまいりました。
いまは第一の収益源となる事業に集中しました。

半導体 35億円 (6.3%)
セグメント別 研究開発費 25億円 (12.1%)
自動車 26億円 (9.8%)
医療 14億円 (8.1%)

半導体市場向け
センシング技術の展開

Optical Smart Sensing (OSS) 技術

Point 1 HORIBAがグローバルに保有する
様々なセンシング技術を活用し、
半導体市場にアプリケーションの提供

Point 2 半導体事業の主力グループ会社である
堀場エステック社にOSSに特化した部門

Optical Smart Sensing技術活用による
・半導体製造プロセスにおける生産性向上と異種
・半導体製造装置の制御プロセス管理におけるセッ

In-situ測定機器
プロセスモニター
エピソードモニター
異種
ガスモニター

半導体市場向けビジネスの歩み

1974 1980 1988 1992 2003 2005 2013 2015 2018 2021 New Developments!

1974 ストリーミング・ラジオ
(後継者エスエック社)
設立

1980 ストリーミング・ラジオ
マクロコンピュータの開発。
半導体市場に参入

1988 ストリーミング・ラジオ
マクロコンピュータの開発。
半導体市場に参入

1992 ストリーミング・ラジオ
マクロコンピュータの開発。
半導体市場に参入

2003 ストリーミング・ラジオ
マクロコンピュータの開発。
半導体市場に参入

2005 ストリーミング・ラジオ
マクロコンピュータの開発。
半導体市場に参入

2013 ストリーミング・ラジオ
マクロコンピュータの開発。
半導体市場に参入

2015 ストリーミング・ラジオ
マクロコンピュータの開発。
半導体市場に参入

2018 ストリーミング・ラジオ
マクロコンピュータの開発。
半導体市場に参入

2021 New Developments!

株式会社堀場製作所 HORIBA, Ltd.
〒601-8510 京都府南区南堀場西町1番地 TEL: 075-313-8121

お問い合わせ: ir-info@horiba.com
<https://www.horiba.com/jpn/>

HORIBA Report
2020-2021

2020年12月期

日本語版は5月発行

ご参考

[参考]2020年実績/2021年予想 【上期/下期別】 (単位：億円)

	2020年実績			2021年予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	849	1,021	1,870	970	1,130	2,100
自動車	271	368	639	270	370	640
環境	86	96	183	95	115	210
医用	104	106	210	120	130	250
半導体	274	295	569	355	355	710
科学	113	154	268	130	160	290
営業利益	66	130	196	105	140	245
自動車	▲ 2	27	24	▲ 5	15	10
環境	4	12	16	5	10	15
医用	▲ 0	▲ 3	▲ 4	-	5	5
半導体	64	76	140	100	100	200
科学	1	17	19	5	10	15
経常利益	67	126	193	103	137	240
親会社株主に帰属 する当期純利益	48	83	131	67	93	160

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun

おもしろおかしく

THANK YOU

Terima kasih
谢谢
Gracias
Σας ευχαριστώ πάρα πολύ
धन्यवाद
شُكْرًا
Danke
Tack ska du ha
Grazie
ขอบคุณครับ
Большое спасибо
Cảm ơn
감사합니다
Dziękuję
Obbrigado
Merci
ありがとうございました